

目標達成計画(NO1)

作成日: 令和 2 年 3 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	13a	日常的な外出支援 ご利用者が一日中ホームの中で過ごすことがないように、一人ひとりの希望に沿って戸外に出かける。	日常に於いて散歩に適した天気・行事・イベント等に声掛け一人ひとりの希望に沿って外出支援を行う。	①車椅子の人も歩行器の人もフリー歩行の人も皆同じように、その人の希望に沿って支援する。 ②ボランティアさんも呼び込んで手助けを頼む	1か月	1月と2月に8人の人が外出出来た。(散歩・初詣・梅の花見・ギターの弾き語り・紙芝居・3B体操)
2	15b	役割、楽しみごと 認知症や障害レベルが進んでも、張り合いや喜びのある日々を過ごせる。	その人のレベルに合った好みや日課となる役割やレクリエーション・リハビリテーションに声掛け自己決定の元楽しく日々を過ごせるようにする	①一日の生活の流れの中で、自己決定した役割や楽しみを、その人に声掛けを忘れない様にする。 ②リハ・レクもその人のレベルに合った支援をして行く。	1か月	役割のある人6人で来た。洗濯たたみ・お盆拭き・新聞折・テーブル拭き・飲み終わったコップを下げる。
3	37g	本人を共に支え合う家族との関係づくりと支援 事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告し理解や協力を得る。	事業所の情報や出来事等ご家族の来設時や管理者通しての電話や通信等で理解や協力を得る	ご本人の体調や生活の様子・欲しがっているもの・喜ばれた時の具体的な話等ご家族の来設時や管理者通しての報告等密に行い理解や協力を得る。	1か月	来設ご家族におやつ時の介助を自発的にして頂いた。また外食に連れ出してくれた家族も会った。ご本人さんの好物を持参された家族もいた。ご本人の笑顔を見て長時間手をつなぎ安定を図った
4	40A	運営推進会を生かした取り組み 会議には毎回利用者や家族。地域の人等の参加を取り組む。	会議に多職種連携を図りご利用者・ご家族地域の人々にも参加して頂き運営推進会活かした取り組みをする	運営推進会に、ご家族・ご利用者・地域の人の参加を声掛け順番で1回でも参加を呼びかけ理解を深める。	1か月	ご利用者の参加は毎回している。ご家族の協力は声掛けると一度なら出られるの声が多かったので次回出る家族が決定した。
5	49d	サービス評価の取り組み 評価結果と目標達成計画を地域包括センター・運営推進会メンバーやご家族に報告し今後の取り組みモニターになって頂く。	サービス評価については運営推進会メンバーやご家族に報告してモニターになって頂きます。	サービス評価が一方通行にならないようにモニターになって頂きます。	1か月	2月の運営推進会会では外部評価を行った結果報告をしました。結果資料が揃い次第ご家族には家族会や玄関先に評価結果を設置して随時読んで頂くようにする予定です。
6	50e	災害への備え 地域住民や消防署。近隣の他事業者と日ごろから連携を図る。	訓練にも参加して頂き、話し合う機会も作り、ご家族に安心感を持って頂く。	年2回の訓練日に来設頂けるか話し合ってみる。	5か月	現在は地域の人決まった一人に毎回参加して頂いています。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

目標達成計画NO1

作成日: 令和 2 年 3 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	13a	日常的な外出支援 ご利用者が一日中ホームの中で過ごすことがないように、一人ひとりの希望に沿って戸外に出かける。	ご利用者は1日中ホームの中で過ごさないように、一人ひとりの希望に沿って支援する。	看取り期の人以外は、天気の良い日は屋外へ散歩・買い物・外食ツアー等一人ひとりの希望に沿って出かけます。	1か月	現在は声かけて希望すれば歩行器や車椅子の人も散歩にできています。
2	15b	役割、楽しみごと 認知症や障害レベルが進んでも、張り合いや喜びのある日々を過ごせる。	一人ひとりの楽しみや出番をつくり役割を持って頂く取り組みを行う。	どの人も楽しめるレク:風船バレー・テーブルサッカー・一日のうち数時間でも取り入れる。	1か月	生活リハやレクを通してその人の楽しみや張り合いを感じています。洗濯たみやお盆拭き・掃除・草取りなどは役割を果たしている。
3	37g	本人を共に支え合う家族との関係づくりと支援 事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告し理解や協力を得る。	担当者や異動職員が変わった場合は都度ご家族に紹介して理解を得る。	ご本人が必要なもの欲し物など都度報告しては協力していただける物はしていただく。	1か月	設備の改修機器の導入・職員の異動など都度報告し理解を得ている。
4	40A	運営推進会を生かした取り組み 会議には毎回利用者や家族。地域の人等の参加を取り組む。	ご利用者・ご家族・地域の人などに参加を呼びかけ運営推進会を生かしていく。	地域の人・ご利用者ご家族の参加し易い日時を持ち回りで1回程度の参加を呼びかけから始める。	1か月	現在、利用者は交代で推進会議に出席している。地域の方は運営委員になり毎回出席している。ご家族は都合により出席されていません。4月より交代で出席されます。
5	49d	サービス評価の取り組み 評価結果と目標達成計画を地域包括センター・運営推進会メンバーやご家族に報告し今後の取り組みモニターになって頂く。	運営委員を始め、ご家族ご利用者に目標達成計画を報告してモニターになって頂く。	評価結果と目標達成計画や評価後の提出資料を揃えて誰でもが手に取って見やすい場所に置き自由にみていただけるようにします。	1か月	運営推進委員メンバーには中間報告をしています。ご家族やご利用者は評価後の提出資料がそろい次第報告し今後のモニターになっていただきます。
6	50e	災害への備え 地域住民や消防署。近隣の他事業者と日ごろから連携を図る。	訓練にも参加して頂き、話し合う機会も作り、ご家族に安心感を持って頂く。	年2回の訓練日に来設頂けるか来設時に話し合ってみる。あるいは通信で参加者の返事をTELLして頂く。	5か月	地域住民の家庭訪問して確認、来設頂ける方が一人います。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()